

9月定例教育委員会会議録

1、開会年月日 平成29年9月5日（火）

2、閉会年月日 平成29年9月5日（火）

3、出席委員氏名

名倉 幸子 前川 喜太郎 田中 久善

西畑 敦司

4、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

教 育 長 森 継 隆

事 務 局 長 仲 谷 俊 充

事 務 局 参 与 西 本 宣 康

事 務 局 次 長 岡 本 匡 史

事 務 局 次 長 吉 岡 昌 則

教 育 総 務 課 長 西 岡 昭 人

生 涯 学 習 課 長 嶋 崎 博 康

文 化 財 課 長 松 本 洋 明

教 育 総 合 セ ン タ ー 所 長 西 田 智 也

教 育 総 務 課 庶 務 係 長 土 田 裕 彦

5、会議に付した議案の件名

日程第1 教育長報告

日程第2 議題 なし

日程第3 報告 学校閉校日の実施状況について

てんりスマホサミット2017の進捗状況
について

6、会議の経過議題

開会 午後 3時00分

閉会 午後 3時35分

1 教育長

皆さん、こんにちは。ただいまから9月定例教育委員会を開会させていただきます。本日の署名委員は、西畑委員と名倉委員にお願いいたします。

それでは日程第1、私の報告のほうからさせていただきます。レジユメの2ページにあたります。

1日、皆さん御存じのように、瑞山市から、中学生の訪問団が参りました。さまざまな交流をして、最後の4日の帰国あいさつでは、天理市内の中学生とキャンプで交流したのが大変印象深いという話を、私のほうとしては、記憶に残っております。

やはり同じ中学生ということで、快活で過ごされて、交流という最初の目的を果たされたのではないかと考えております。

そして8月のほうでお盆、14、15、16とここには、書いておりませんが、私の報告というより、学校閉校日のほうは問題なく終わらせていただきましたので、ここで報告させていただきます。

そして、長岳寺で平和の鐘を鳴らそうという催し物に行かせていただきました。樫本小学校の池本先生の反戦ソングという平和を祈る歌の後、皆で12時に黙禱して、平和の鐘をつかせていただきました。

そして23日に、天理市内で保・幼・小・中・高、一同に集まりまして、研究集会、キャリア教育の一環として、行わせていただきました。講師として関西学院大学の入試部の方に、「これからどのように入試がかわっていくのか」という講演をいただきまして、その後、3つの部会に分かれて、保・幼・小・中のそれぞれのキャリア教育が一つのテーマで、もう一つが保・幼・小・中・高の連携できること。次

が保・幼・小・中・高を通じたグローバル教育、この3つのテーマで分かれて、大体七、八人のグループで交流会をもたせてもらいました。

後のアンケートでは、おおむね好評でありまして、出た意見としましては、幼稚園の先生のほうからは、「幼稚園では遊びや生活の中で、主体的に活動した学びをつくっていくことを大切にしていると。でもそのことが小中校から大学入試まで影響していくということがよくわかった」と幼稚園の先生の意見でした。

また、義務のほうで、中学校の先生だと思いますが、「義務教育のゴールを高校受験に設定しているところがあった、講演を聞いて視野を広げることができた」という中学校の先生。小学校の先生からは、「小学校の担う役割がわかったような気がする」という意見が出てまいりました。

そして大半の先生が、今までは小中までだったけれども、高校の先生も入って、幼・小・中・高ということで、いろいろな人と話をできたということは、いい経験になったということで、いい取り組みができたと、自画自賛でございますが、よかったと思っております。

そして、8月の主な流れということでございますが、何か質問のほうございますか。

1 田中委員

2 3日の研究集会ですが、今後も計画的に来年も含めてあるのでしょうか。

1 教育長

アンケートを見て、おおむね好評だったということで、続けていきたいなとは思いますが、幼・保・小・中・高が一堂に介するとい

うことで、校種が違う先生方とも意見交換して、今は決めていこうと
思っております。一部では3年に1回が適しているのではないかと
いうご意見もありましたし、それも今まだ決めておりませんので、高校
の先生とまた、相談して決めていきたいと思っております。

1 田中委員

これから大きく入試制度が変わっていく中で、幼・保の、あるいは
幼・保と小の連携、小・中という連携にかかわっては、かなり親密に
目指すところを明確にしていかなければならない時期だと思えますの
で、できるだけそういった親密な連携のもとに、こういう研究集会を
充実させていただきたいなと思っております。よろしくお願ひしたい
と思えます。

1 教育長

できれば、義務だけで、保・幼・小・中と集まりがあり、また高校
のほうにも声をかけていきたいと思えます。ほか何かございますか。

1 名倉委員

今の話ですが、奈良新聞にも大きく取り上げられていまして、なか
なか今まで、そういう取り組みができなかったとか、時間的な問題も
ありますし、そして保・幼、保が入って、あと保から高校までの皆さ
んが一堂に介したということは、すばらしいことだと新聞にも載って
いたのですけれども、3年1回と言わず、やっぱり教育には、待った
なしですので、できたら2年に1回ぐらいしていただいたらなという
意見もあるみたいですよ。

それとあとテーマですが、今回は大学受験のことですが、テーマは
いろいろ考えておられるのでしょうか。今はまだ終わったばかりで

すので。

1 教育長

まず、最初の一步ということでさせてもらいましたので。

1 名倉委員

またそれに見合ったテーマをいろいろと課題などを取り上げて、こういう取り組みを続けていかれたらいいかなと思います。ありがとうございます。

1 教育長

一番出口というもので、社会のほうに、有意義な社会人をつかっていくのが目的ですけども、その社会をうまく渡っていく上で、一つは大学入試が変わりますので、その辺の高校までの出口というのですか、どういう力をつける必要があるのかということ、共通認識しようというのが、最初の始まりだったのですけれども、その辺の目的は果たせたかなと思っております。

ほかに何かございますでしょうか。

1 前川委員

今の研究集会ですけれども、教育委員会だけで考えたら、幼・小・中の中でその枠を超えて保育所、あるいは高校との連携もできたというのは、大変すばらしいことだと私も思います。

そういう感想もよかったという意見が、やはり多いのであればやっぱりそれも含んで、来年についての開催の検討をなされたほうがいいのかと感じます。

1 教育長

わかりました。その方向でまた考えていきたいと思います。今は終

わってホッとしているところで。

1 西畑委員

今のそのお話ですけれども、天理市のPTA協議会というところでは毎年、教育懇談会ということをやっていますと。毎年ですよ。確かに、保は入っていませんけれども、天理市内の幼・小・中・高まで、養護学校もですけれども、全部含めてということで、PTA会長さん来ていただいて、お話ししましょうと。先生のお話聞いて、それについて「お互いにディスカッションしましょうよ」ということも定期的にやっております。定期的にやっていると、もう癖になってしまえば、ずっと続いていくかなと思いますので、ほかの委員さんのお話もありましたけれども、ぜひまめにやっていただけてということで進めていただけるとありがたいなと思います。

1 教育長

わかりました。また部内でも相談して、学校の先生に相談して、しっかり頑張らせてもらいますので、どうもご意見ありがとうございました。

次、進ませていただきますが、本日日程第2の議題はございません。

次に日程第3、報告ということで、先ほど僕のほうが言ってしまいましたけど、学校閉校日の実施状況について、学校教育課からの詳細、またよろしくお願いします。

1 吉岡事務局次長

口頭で報告させていただきます。冒頭で教育長のほうからお話がありましたけれども、今年度から8月14、15、16の3日間、市内の公立の学校、園の閉校、閉園日ということで、設定させていただきます

まして、保護者のほうにも通達を出したところでございます。

ただ、その状況を確認させてもらいましたところ、幼稚園、こども園を除く8園ですけれども、全ての園でこの3日間、閉園したと。ただ、二階堂、櫛本、柳本幼稚園のほうは長期休業中の預かり保育をしております。その辺のところ、事前に保護者とも話し合いをしていただいて、保護者のほうもご協力いただいて、その3日間の預かり保育の希望はなかったということで、完全に閉園できたということになります。

小学校9校ですけれども、朝和小学校のほうが、ちょうどその日、前後、校区の夏祭りの日にあたっております、準備等々で管理職の先生のほうは出勤をせざるを得なかったわけですけれども、それ以外の先生方は、全て年休、特休等でお休みをいただいたということで、それ以外の小学校のほうも全て、閉校させてもらったということで、特に問題はなかったということでございます。

中学校のほうですけれども、北中と福住中学校のほうは、部活動のほうも休養日として、完全に閉校したと。ただ、南中学校と西中学校は、県の総体と関係もありまして、若干部活動のほうでは、学校は閉めているのですが、部活動だけ何時間か練習したというふうに聞いておりますので、その部分だけ南中と西中のほうでは、顧問の先生と子どもたちは、活動したというふうになっておりますが、学校のほうは閉めたということになっています。

今申し上げましたように、一定保護者の方のご理解も得られたのかなということで、特にその間、各校園とも問題もなく、緊急の連絡もありませんでした。その3日間、私も教育委員会に詰めておりました

けれども、特段、外部からの連絡もございませんでしたので、問題もなく3日間過ごしたのかなと思っているところでございます。以上でございます。

1 教育長

ありがとうございました。ただいまの説明について、何かご質問ございますか。

1 西畑委員

南中学校と西中学校で部活動のためにという、部活動は行われていたということですが、学校は閉められていたということですが、ではその部活動はどこでされていたのかなど。

1 吉岡事務局次長

名目というか、閉まっていますよ、という形で保護者のほうには、通達を出しています。ただ一部の部活動では、当然門はあいていますので、活動しているということになっています。

1 教育長

よろしいですか。

1 田中委員

十分検討してやったださっていることと思いますが、万が一のために、緊急連絡網だけしっかりとされて、あと何かあったときには、きちっとその対応ができる体制だけは、この閉校期間であっても、もちろんされていることと思いますけれども、そこだけはお願しておきたいと思えます。以上です。

1 教育長

よろしいでしょうか、ほかに。

次の報告のほうにいかせていただきます。教育総合センターから、
てんりスマホサミット2017の進捗状況について、お願いします。

1 教育総合センター所長

失礼いたします。お手元に「てんりスマホサミット2017」に関するプリントを表裏の原稿、去年の調査からというアンケート調査があります。それから今子どもたちが取り組んでいる様子の写真を載せているというふうなお手元にあると思いますのでごらんください。

昨年度に実施されました「てんりスマホサミット」ですが、今年度も来年1月20日、土曜日に実施します。趣旨は、青少年がインターネットを介して、被害やトラブル、いじめ等に巻き込まれないよう、また、青少年のネット・リテラシー向上に向けた取り組みを各学校において実践、定着させることを目的としますので、実施していきます。

2 ページ目を見ていただきたいと思いますが、概要図があります。事業目的は今言いましたように、趣旨が同じでありますけれども、実行委員会がありまして、実行委員会に一番中心になって、ご指導いただくのは、帝塚山大学の日置慎治教授が指導していただくわけですが、そこに学校関係者、あるいはPTAの関係者、それから天理市民会議の代表者、警察署、総務省の近畿総合通信局から、それから大学生の代表などが集まって実行委員会を組織して、事業を進めていく予定です。

1 回目は、表に戻って見ていただきますが、6月6日に1回目の実行委員会をもちました。2016の昨年度の報告と29年度について、どういうふうに進めていくかということや情報交換を含めて、日置教授ほうから研修を進めていただきました。日置先生につきましては、

NPOのなら情報セキュリティ総合研究所のほうにも、名前のある方で、いろいろこういったネットに関するトラブル等については、早くから取り組みを進めていただいている方であります。

6月24日に第1回のワークショップを開きました。子どもたちは、添上高校、二階堂高校、北中学校、南中学校、西中学校、福住中学校、天理中学校、それから小学校からは、ことしは前栽小学校と朝和小学校の2校から代表の子どもたちが出てきて、5つのグループをつくって、それぞれワークショップを行って、どういった形で、この「てんりスマホサミット2017」に目的のあった内容で取り組んでいたことを第1回のワークショップで話し合いをしておりました。

大学生の、天理大学と帝塚山大学の大学生がサポーターとして応援で入ってくれておりますので、それぞれのグループには、天理大学生を中心に、今年度の取り組む内容について、話し合いを進めているところです。

夏休み中の8月18日に、第2回目のワークショップをもちまして、それぞれのグループで今年度、どういったもので進めていくかということで、今、去年の取り組みも含めて、子どもたちは、どうもやはり動画作成、自分たちで動画をつくりながら、何か訴えていけるものがあったらということを考えてくれているところが多いようです。

それからポスターの作成、それからスマホクイズのアプリ、こういったアプリを大人の力を借りながらになると思いますけれども、つくって、何かインターネットにかかわることで、できるものをつくっていけたらということで、今考えてくれているところであります。

次回12月23日が、第3回目のワークショップになりますが、そ

れまでもう1回、臨時で10月22日に二階堂高校に集まりまして、シナリオを考えてくれていますので、そういったシナリオや動画をとったりすることの調整に入っていきたいと思っています。

それから2学期に入りまして、小学校4年生から高校3年生までの中で参加して、各クラスですね、1クラス抽出をしてアンケートを実施して、今後そのアンケートを集計していきたいと思っています。

日置先生からは、「アンケートについては、1年で終わることなく、続けて調査をすることで見えてくることがあるので、ぜひ続けてアンケートを実施していただけたら」ということで、指導をいただいています。

3ページ目に、去年の調査からということで、まとめたものを掲載しています。

小学校では、4年生以上の携帯の所持率につきましては、いわゆるガラケーと言われるものですが、スマホをあわせて51.2%。まあ半分半分ということになるかと思います。

中学生につきましては、約74.6%ですので、75%ぐらいですね。それから高校生につきましては、ほぼ98.2%でほぼ100%に近い子どもたちが携帯を所持しているというふうになると思います。

インターネットに接続をしたことがあるか、ということにつきましては、小学校6年生と高校3年生で若干、他学年よりもデータが低いという状況が昨年度はありました。なぜ低いのかということについては、昨年の分析では、理由はよくわからないという分析でありましたですけれども、今年度は、分析をさらに調査をすることによって、同じようなグラフが右に1年ずつずれていくのか。あるいは去年と同じ

ような結果が出てくるのかということも照らし合わせながら、また考察していけるのではないかなと思っています。

それから継続時間での違い1、2、3ありますけれども、やはり長時間スマホ、あるいはインターネット等で時間を費やしている子どもたちが、夜遅くに寝るとか、あるいはイライラする、自信がない、あるいは動画をアップする。当然時間が長くなりますので、そういった経験も含めてふえてくるだろうし、だからネットでのトラブル等、知らない人とラインをしたりという、こういう調査の結果も出ております。今年度、再度調査をして、昨年度と比較等でまた、考察できたらと思っています。

「てんりスマホ宣言」大切な時間をスマホにあてたら、もったいない。ネットでの相手の顔はわからない。画面の向こうに人がいることを考える。

これは、昨年度、子どもたちが考えてくれた内容であります。今年度も何か、そういった宣言を出していくのか、あるいは大事なことは、それぞれの学校に持ち帰っていただいて、あるいは市内の小中高にこういった、インターネットに潜む、いろいろな危険性ですかね。そういったことを広めていけたらと思っています。

第1回目の子どもたちのいろいろな意見を見てもみますと、我々は危険であるとか、そういうことを思っているわけですがけれども、子どもたちには便利な部分もある。あるいは使い方を間違わないようにすれば、それはやっぱりこれからも非常に大事な、大切なものであるということも意見としては出ていました。そのことも含めて、あるいは去年いただいた意見も含めて、大人が子どもたちを守っていくために、

どんなことができるのかということも含めて、今後考えていかなければならないことになるかなと思っています。

第1回目の実行委員会の写真とグループワーキングをしている様子を写真に載せています。こういった形で子どもたちが主体的に考えて、自分たちができることを訴えていくということで、去年のスマホサミットの意見なども読ませていただきますと、参加していただいた方々からは、子どもたちの主体的な姿が見られたこととか、あるいは大人がやはり知らないことがたくさんあるとか、そういった意見もたくさんいただいています。今年度もまた、2017が充実したものになるように、今後進めていきたいと思っています。以上です。

1 教育長

ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何かご質問ございますか。西畑委員。

1 西畑委員

この件に関しては、すごくスマホが悪者にされているな、という印象になっているのですけれども。何年か前に教育懇談会で取り組みを話したこともあります。テクノロジーというものが浸透していくという中で、段階的に、あるいは同時発生的にかはわかりませんがS、M、Lというものが、経験されてくるであろうというお話をしたこともあります。Sはセキュリティ、Mはモラルティ、Lがリテラシィというお話をしたことがあるのですが、この2ページのところ事業目的もそうですし、1ページの最初のほうもそうですかね。趣旨として、青少年がインターネットを介して、被害やトラブル、いじめなどに巻き込まれないよう、また青少年のネットリテラシィ構造に向けた取り

組みをとということではありますが、被害やトラブルに巻き込まれない。これがセキュリティですね、いじめなど、これがモラルティのところになりますね。あとがリテラシィになるのですが。さてこのリテラシィ向上に向けた取り組みというのが、今ここら辺のお話の中だと、どうしても危ない、危ない、守ろう、守ろうとしているというふうなところ。これももちろん大事なことです、ここに掲げられているリテラシィというふうなことに対しては、どのように取り組まれていくような動きを持っておられますか。

1 教育総合センター所長

西畑委員のように専門家ではありませんので、詳しいことは、よくわかりませんが、基本的には小学校の子どもたちから高校生までの、子どもたちがどういった現状で、スマホやインターネットを使っているのかということが、まず我々がしっかりと把握しなければならないことが大事だと思っています。

それから今後、先ほども言いましたように、決して悪いものではなくて子どもたちは、使い方を間違わなければ、とっても便利な物であるし、あるいはどこかへいっても、初めて行く場所であっても、それを見ることによって着くこともできるし、便利なものであるし、大事なものであるという認識は持っていると思うのです。ですので、私たち大人が子どもたちにどういったことで、使い方を間違えないようにしていくのかということを知らせていくのかということについては、学校現場も含めて、しっかりこれから取り組んでいかなければ、親御さんにフィルタリングをしっかりとかけてくれ、ということだけでは、なかなかこれは十分ではないだろうと思っています。

先ほども言いましたように、それぞれの学校へ持ち帰る、あるいは市内の学校にアンケート調査等の結果から個々に知ってきたことを広げていく役割を子どもたちが、みずから考えて、訴えていったことなどを広げていくことによって、自分たちがどのような付き合い方をしていくことがいいのかということ、自分たちで考えていく手だては、やはりしていくことが大事ではないかなと思っています。

これは私個人の考えですけれども、ちょうど私が生まれたころに、テレビがスタート出てきて、ラジオ文化からテレビ文化に変わってきたころだと思います。当時もやはりテレビにいろいろな、テレビを見ることによる被害といいますか、広がったと思います。じゃあ今どうなのか、ということと考えたら、テレビがなければ、なかなか生活できないような状況になっているだろうと思いますし、テレビの時代からビデオが出てきて、テレビのチャンネル数も今はかなりふえて、私たちが出会ったときのテレビの状況とは、随分違いますから、そのとき、そのとき、その時代によって、そんなことをしっかりと大事にしていくことがいいのか、ということをやっぱり考えていかないと、ここにも出ていますように睡眠時間が随分少なくなっているであるとか、いろいろな状況があったり出てきますので、そういった内容について子どもたちと考えていけたらなと思っています。

1 西畑委員

取り組みとして、子どもたちが主体的に考えるという取り組みとが、素晴らしいと思いますので、ぜひとも進めていただいて、天理の子どもたちは情報の取り扱いがうまいというふうなことになるのであれば、しめたもんだなと思いますので、ぜひともよろしく願いいたします。

1 教育長

ほかの委員、何かご質問ございますか。名倉委員。

1 名倉委員

ことし2年目ということで、昨年の検証をしながら、今年取り組みとしてまた新たに進められていると思うのですが、まずは実体調査の把握というのもすごく大事だと思います。そして、ワークショップが昨年もあったかなと思うのですが、このワークショップに参加している児童、生徒が小学校から高校まで、かなり年齢差があると思うのですが、この小学生が理解できる範囲というのは、ある程度限られてくるとは思いますが、そのあたりでは問題はないでしょうか。

1 教育総合センター所長

参加している子の中には、携帯を持ってない子もいます。持ってない子は、持ってない子の自分の意見も述べることも思われますので。

昨年のスマホサミットの中でも、子どもたち、パネラーで並んでいる子の中にも持ってない子が出て意見が出たと思うのですが、そういった子が持っている、スマホやインターネットに関する感覚というのがありますね、それもまた大事だと思うのですね。そこで、これからいつかは持つであろうし、どこかで出会うというそのときに、間違った出会い方や使い方をしないようにということで、その子自身が学んでくれたらいいと思いますので、そこにいることで、その子が周りやインターネットやスマホの話がだあっと進んでいて、自分は何も取り残されてしまっているという感じはないと思っています。

学校でも6年生からインターネットを使ったり、いろいろされてい

ます。スマホはまだ持ってないですけども、話の中には、いろいろとはいっていただけると思っています。

1 名倉委員

ありがとうございます。このワークショップに参加することによって、色んな学びもあればと思うのですけれども、先生が何回もおっしゃっていた、結局このワークショップなどで思ったこと、自分たちの意見などを、皆に持ち帰って、皆に広げることが一番大事だろうと私もそう思うのですが、皆に周知してもらおうとか、広めるという取り組みというのは、どういうふうになさったのかなと思ひまして。

1 教育総合センター所長

僕も昨年どういうふうにして、最後されたのかということがはっきりわかりませんが、読みでどうだったかということを見ると、そこまでの部分については、不十分だったという総括をされていますので、スマホサミットをやって終わりではなくて、先ほども言いましたように、アンケートの結果から出てきたことについて、どんなことがわかってきたのであるとか、あるいは考察されたのかということについては、きちっとそれぞれの現場に返していく必要があるであろうし、それからあとは、こういったことを参加している学校だけではなくて、とにかく小学校については、2校の参加ですので、2校の参加ではなくて、全ての学校において、いわゆる情報共有という面において、スマホサミットから流せた情報について、また進めていただけたらと思っています。

1 名倉委員

わかりました。できましたら、このワークショップに参加した、見

童、生徒たちが持ち帰り、大人の意見ではなくて、自分たちの感じた意見とか、そういうのを皆さんに広めていってほしいなという点も大事かなと思います。またこれからもよろしくお願いします。

1 教育長

田中委員。

1 田中委員

そういう意味で、僕も同じ意見を言おうかなと思っていただけですけども、天理市の子どもたちの代表が集まってサミットをするのはいい。これがどのように天理の子どもたちの端から端まで浸透するのかなということが大事。恐らく各学校なりにされていると思います。

今後は、これを下からあがってくるような方法も考えられたらどうか。そんなことを思います。されてなければしていただければいいと思います。どの学校でもされているようなことが、全市的に吸い上げられてくるような流れがあればいいのかな。そんなことを思いますので、一つそれもプラスされてお考えいただければありがたいと、私の意見です。

1 教育長

前川委員、何かございますか。

1 前川委員

一つだけ質問いいですか。10月にスマホアンケートの実施が1ページに書いてあるのですが、1クラス抽出、小学校4年生から高校3年生。この調査対象はワークショップに参加された学校のみなのか、それとも全部の学校をアンケートの対象にされているのか。

1 教育総合センター所長

全部の学校を対象にしています。特に小学校、今2校しか出ていませんので、残りの小学校も全部対象にしています。

1 前川委員

含めて4年生の学年から1クラス、5年生の学年も1クラスという形でアンケートを実施されるということですね、はい、わかりました。ありがとうございます。

1 教育長

よろしいでしょうか。今の意見を入れて、第2回のスマホサミットも充実させていきたいと思えます。また担当のほうもよろしくお願ひします。

これをもちまして、本日の定例教育委員会を閉会といたします。どうもありがとうございました。

閉会 午後 3時35分